

事業評価調書

◎基本情報

年度		令和5年度		会計コード		10		一般会計		事業コード		37910		
事業名		UIJターン就職移住支援費												
評価担当課		所 属		経)産業振興部 雇用労働課						電話番号		011-211-2278		
施策名		多様な人材が自身の持つ能力を発揮し、誰もがやりがいや充実感を												
アクションプラン		● 対象 ○ 対象外												
事業の性質		○ 経常経費 ● 臨時的経費						○ 内部管理		○ 法定経費		○ 指定管理費		
		○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他												
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)		札幌市では進学・就職を契機として、首都圏へ流出する20代の若年者が毎年1, 500～3, 000人程度おり、転出超過が続いている。このような状況から首都圏からの人材還流を図るべく、東京都内及び札幌市内に常設の職業紹介窓口を設置し、UIJターン希望者に対して就職支援をしてきたところ。特に、札幌の拠点においては、令和5年度から移住支援金の受付業務も行っており、UIJターン希望者の精神的不安のみならず、経済的不安の軽減にも寄与している。											
	事業内容 (何を実施し)		【札幌UIターン就職センターの運営】 ①東京都内及び札幌市内にUIJターン希望者向けのワンストップ相談窓口(「札幌UIターン就職センター」)を設置。 ②対面やWEB等を用いたカウンセリングや求人情報の提供。 ③UIJターンイベントの開催・参加。 ④札幌圏の企業と道外在住者のマッチング支援。 ⑤道外在住学生の就職活動時にかかる交通費を一部補助。 ＜結果＞ 登録者数1, 097人、登録企業数1, 051件、内定件数206件、就職決定者数116人 【移住支援金の支給】 東京圏(東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県)から札幌市への移住者のうち、移住支援金の要件を満たした者へ、その移転費用等の一部を補助するため移住支援金を支給する。 ＜結果＞ 支給件数:就業2件、起業2件、テレワーク51件											
	どのような状態にしたい (状態を維持したい)		人口減少に歯止めをかけ、経済規模を維持するために必要な若年層人口の確保及び人手不足に苦しむ札幌圏内の企業に対する人材供給											
	他都市の状況		地方都市共通の課題として、各地において人口減少対策を進めている。UIJターン支援に関してもイベントの開催や就職活動時の旅費や宿泊費の助成を行っている。カウンセラー常駐による東京圏での相談窓口の設置は、県での多数の事例があるが、政令市では岡山市と本市のみである。											
	市民参加の実施		□ 企画 □ 実施 ■ 評価 □ 対象外											
令和4年度決算額		99,524 千円		うち特定財源		27,675 千円		正規職員業務量		0.51 人工				
令和5年度予算額		114,000 千円		うち特定財源		39,750 千円		正規職員業務量		1.33 人工				
令和5年度決算額		116,821 千円		うち特定財源		45,820 千円		正規職員業務量		1.33 人工				
令和6年度予算額		135,000 千円		うち特定財源		54,250 千円		正規職員業務量		1.33 人工				
指標	アウトプット 活動指標1		UIセンター登録者数(単位:人)						という活動、業務を行うことで					
			令和4年度実績		令和5年度予定		令和5年度実績		令和6年度予定		令和7年度予定		令和8年度予定	
			1,008		1,070		1,097		1,130		1,190		1,250	
	アウトカム 成果指標1		UIセンター登録者の就職者数(移住世帯数)(単位:世帯)						という状態にしたい、成果を挙げたい					
			令和4年度実績		令和5年度予定		令和5年度実績		令和6年度予定		令和7年度予定		令和8年度予定	
			149		150		118		150		160		165	
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方		成果指標の目標達成率は8割程度となったが、登録者企業数は過去最高となり、登録求職者数も増加傾向にある。求職者との対面での相談機会の拡大を図り、今後は目標達成見込み。											
	アウトプット 活動指標2								という活動、業務を行うことで					
			令和4年度実績		令和5年度予定		令和5年度実績		令和6年度予定		令和7年度予定		令和8年度予定	
	アウトカム 成果指標2								という状態にしたい、成果を挙げたい					
			令和4年度実績		令和5年度予定		令和5年度実績		令和6年度予定		令和7年度予定		令和8年度予定	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方														
今年度の見直し内容		UIセンターの大学開拓員を1名増やすことで、より多くの道外大学との就職協定締結に繋げ、大学との連携による学生のUIJターンの促進を図っている。												
来年度以降の方向性		東京の窓口をより利便性の高い場所へ構えるために、関係部局との連携を図る。												